

わーど

第52号
2018. 11. 1

ふれあい交流 “いなみ野の里”



今年も8月9日(木)から8月14日(火)の6日間、
12カ国地域の12人が稲美町でホームステイしました。

“いなみ野の里” ホームステイ事業30年の時を経て

“いなみ野の里” ホームステイ事業を始めてから30年経ちました。その歩みは稲美町国際交流協会の歩みと重なります。

平成元年、異文化理解の難しさ、楽しさ、大切さを体験し、稲美町における国際交流を推進するため、海外からの留学生を稲美町に招き、町内の家庭でホームステイしながら、町民や学校その他さまざまな組織・団体の方々と交流するこの事業を企画・運営するために「稲美町国際交流協会」が産声を上げたのです。(設立時の名称は「稲美町国際交流検討会」)

今回で30回目となり、これまでに来町した留学生は、56ヶ国・地域から322名で、受け入れ家庭(ホストファミリー)は延べ301家庭となりました。

事業が大きな成果を収めているのは、ホストファミリーをはじめ、関係する皆様から多大なご支援を頂いているからこそと感謝しています。また、ボランティアである協会スタッフも力を尽くしてくれています。皆さん、ありがとう。これからも当事業を大切に育んでいく所存です。今後とも皆様のご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

(稲美町国際交流協会 会長 中谷 範之)

トワイニング・カーニバル 6/4(月)~6/8(金)

JICA	事務仕事	日程
JICAで話を聞いていて、日本では当たり前のことでも、他の国では当たり前ではないということが分かりました。安定した職業に就けないや、食事もうくにできてない人もたくさんいることを知りました。このトワイニングカーニバルで学んだことを活用していきたいと思えます。	事務仕事は細かい作業が多いと思いました。私たちがしたのは紙を折って封筒に入れるという仕事でした。作業している中で「切った」と思った事は封筒を受け取る方のことだと思いつつ丁寧にやることで「あ、なので紙の向きをそろえたり」と細かい所にも気を付けていました。この思いが届くと嬉しいですね。	1日目 JICA訪問 2日目 事務仕事 3日目 イギリス人 マシューさんのお話 日本語教室体験 4日目 わーど作成 中国人 ニーソンさんのお話 5日目 姫路城で 英語ガイドの見学
マシューさんのお話を聞いて、イギリスとニュージーランドは、だいたい同じくらいの大きさだと知って、とてもおどろきました。英語を聞きとって、英語で話すのは、たいへんだったけど、すごく充実した時間をすごせて、良い経験ができました。と思います。	日本語教室体験 1人1冊辞書を片手に一生懸命勉強している、用事がないに「や、なんでお話を聞くの?」など、日本人なのに説明できなくて大変でした。日本語について答えられないのは勉強不足だなと感じた。	

充実した5日間は、とても勉強になりました。(松田)・国際交流もたくさんできたので、これからに生かそうと思います。(西尾)
とても貴重な経験をさせてくださいました。(本田)・毎日わくわくして、楽しく学ぶことができました。(川崎)

平成30年度 ご協力いただいている企業・団体様 (順不同)

キング醸造(株)	いなみマイマイ工房
医療法人社団 奉志会	稲美町老人クラブ連合会
植田住地(株)	天理教加古大教会
広田鉄工(株)	赤松機器工業(株)
上野鋼業(株)	インドネパールダイニングヴィレッジ
榊本建築設計事務所	(株)マルオ洋品店
六甲バター(株)稲美工場	山本電機
(株)アシス	兵庫南農業協同組合天満支店
印南養鶏農業協同組合	イナミスポーツ
(株)稲美乳販	(有)コレクト
(株)コカジ技研	明光印刷(株)

今年度も引き続き、ご支援、ご協力賜りますよう、
よろしくお願い致します。

6/13 (水) 日本語教室 生徒交流会

稲美町国際交流協会日本語の勉強をしている生徒さんが集まって、料理会を開催しました。肉じゃが・ちらし寿司など日本の家庭料理をみんなで作りました。また家でも作ってみて下さいね!

9/9 (日) 稲美町じんけん わくわくスクール

町教育委員会人権教育課主催の「じんけんわくわくスクール」のイベントを担当しました。約80名の小学生は、インドネシアのお話や民族楽器「アングルン」の演奏体験をしました。

参加者募集 受付期間：11月5日~11月22日

12/1 (土) 第3回 ワイン講座
「第3回世界のワイン講座」を開催します!
とき：12月1日(日) 18:00~20:00(受付17:30~)
ところ：いきがい創造センター2階ホール
参加費：会員2000円 非会員3000円
定員：30名(成人のみ・定員になり次第締め切ります)
*会場への行き帰りは各自ご留意ください。

12/8 (土) 神戸大学の留学生とお話会
神戸大学にきている留学生を招いて出身国のお話など聞いてみませんか?
とき：12月8日(土) 14:00~15:30(受付13:30~)
ところ：いきがい創造センター1階ワーキングスペース
参加費：会員 無料 非会員100円(子ども同額)
定員：15名程度(定員になり次第締め切ります)
*小学生以下の方は保護者と一緒にご参加下さい。

編集後記 30回目のホームステイ事業を無事に終えることができました。今回もたくさんの方々に御協力、御参加いただき、たいへんうれしく思っております。ありがとうございました。今年度後半のイベントにも多数御参加お待ちしております。(1)

【わーどクイズの答え】 1 にわとりの足

8月10日(金) 高校生交流会



生徒会・2年生・男子
 僕たちの話す英語を理解してくれてとてもうれしかったです。そして、これを機会にもっと英語の勉強をしようと思いました。また機会があれば、このような交流会に参加したいです。本当に楽しい1日になりました。



茶道部・2年生・女子
 初めは、どんなことになるんだろうと思ったけれど、日本語がとても通じて、初め抱いていた不安がなくなりました。フリートークでも外国や日本、大学の話まで聞かせてもらってとてもいい経験になりました。もっと話したかったです!もっと色々な交流をしたいです!!



8月11日(土) 中学生交流会



3年生・女子
 今回の国際交流は他の地域の文化を調べる良い機会でした。異文化を知ることができました。また、実際に会うことで、「他の国の言語をもっと知りたい」と思うことができました。



3年生・男子
 今日は、司会もさせてもらえて良かったです。でも、留学生の方々にちゃんと伝わったのかわからないけど、自分の中ではあまりスムーズに進んでなくて申し訳ないなと思いました。留学生の方々と「自己紹介ゲーム」や、「坊主めくり」をして、とても楽しかったです。吹奏楽部の演奏もとても良く好きなお曲も流れてとても良かったです。とても楽しい国際交流会になりました。



思い出がいっぱい

老人クラブ、加古小学校、稲美北中学校、東播磨高校の皆さん、素晴らしい時間をありがとうございました。



8月11日(土) ランチ

カフェ&ダイニング「サンキュー」で稲美産のトマトを使った「あぶりチーズのトマトソースかつめし」をいただきました。



めっちゃおいしい!!



また稲美町へ遊びに来てね

8月12日(日) お別れ会



8月9日(木) ふれあい歓迎会



★みんなで〇×クイズをしました★



8月10日(金) 老人クラブ・小学生合同交流会



(S.T) 男子
 めったにない行事を楽しめて良かったです。またこんなきかいがあれば参加したいです。



(S.W) 女子
 交流できる機会はめったにないことだと思うので、とてもいい体験をしたなと思いました。外国の方とは、あまり話したことがなかったけど、話せてうれしかったです。また、いろいろな国へ、旅など行ってみたいくなりました。



老人クラブ男性
 各国の留学生との交流によって、その国の生活習慣の違いから考え方に大きな相違があることを、身をもって実感しました。グローバル社会に対応する為にも今後も交流を進めて参ります。

8月10日(金) ランチ

★万葉の森にある「きっちんーもあ」で和風ランチをいただきました。炊き込みご飯が好評でした。白玉団子やとろろでもおいしかったです。食後はお庭を散歩しました。



老人クラブ女性
 留学生・六年生との交流会、難しい色づかい等、大変楽しく素晴らしい一日を有難うございました。



赤松ファミリー

交流はこれから

我が家の夏一番の行事、ホストファミリーとして、今年はスリランカ出身の留学生パシンドゥを迎えました。彼は四月に日本に来たばかりなので、歓迎会では、テーブルの上のスリランカの国旗や名前入りの米パンを見て、とてもうれしそうでした。日本の文化に興味があり、和太鼓の歓迎で、私たちの会話もずい分はずみました。まだ、四ヶ月しかたっていないのに、日本語がとても上手でびっくりしたのですが、彼はもっと上手に話せるようになりたいと言っていました。

六日間という短い間でしたが、いろんなことをし、たくさんお話をしました。車や電車での移動の時や食事の時も、スリランカの国のこと、大学のこと、家族のことなど話してくれました。彼はユーモアがあり、日本のことについてよく知っているので、お話するのがとても楽しい毎日でした。また、あり合わせの材料で作った料理もお箸を上手に使って残さず食べてくれました。部屋で自分のことをしたいところなのに、居間でゆったり過ごすことも多く、私たち家族のことをよく気遣ってくれていると感じたものでした。そして見せてくれたノートには、すみかすみかで漢字がびっしりと書かれてあり、驚くばかりでした。会話の中でも、わからないことはすぐに聞いたり調べたりする姿勢はとても刺激になりました。

昨年の留学生、アメリカにいるナンシーとパシンドゥが電話で話したところ、スリランカに駐在したことのある知り合いの人とパシンドゥが母国語（シンハラ語）で盛り上がったこと…改めてホストファミリーを受けてよかったと思いました。パシンドゥと出会って、あまり知らなかったスリランカの国がとても身近に感じられるようになりました。そして、最終日に「私には家族が二つあります」の彼の言葉が今も心に残っています。素晴らしい出会いを作ってくれた協会の方々、本当にありがとうございました。



パシンドゥ(スリランカ)

生活の変化

私はUプログラムのために4月に日本へ来ました。日本語を勉強せずに日本へ来たから、今、日本語があまり上手ではありません。このホームステイに来て私の生活は大きく変わりました。私は大学の寮にいた時、宿題とか試験とかいろいろな大切なことがあるから、とても大変でした。毎日頭が痛くなります。しかし、このホームステイプログラムに来たあと、頭が痛くなったことが一度もありません。私はそんなに喜んでいました。私は全て行事を楽しみました。みなさんは私たちを幸せにするためによくがんばったとわかりました。どうもありがとうございました。

このホームステイプログラムの良い点がたくさんありますが、一番良い点は私のホストファミリーがとても親切だったことです。私は今二十才です。そして、スリランカでいろいろな人と会ったことがありますが、このくらいやさしい方々と会ったことが一度もありません。はじめて経験もたくさんあります。私ははじめてゴルフをしました。それはスリランカで全然出来ません。神戸ビーフはスリランカでもとても有名ですが、私は食べたことがありません。それを聞いてお父さん神戸へいらっしやって神戸ビーフをお買いになって私に下さいました。後でみんないっしょにBBQしました。そして、初めて私の母国語が出来る外国人のひとと話しました。かれはシンハラ語がすごく上手でした。その時私はとても嬉しくなりました。それから、私の国について放送した外国の番組を見ました。お父さんにビデオ録画していただきました。花火祭りも見ました。すごくきれいでした。さらに、コンサートに行つて、同じピアノを二人同時にひいているのを見ました。そして、日本にある世界遺産を見ました。それは姫路城です。後で世界一長い橋、あかしあき橋を見ました。ホストファミリーと過ごした時間は非常に面白かったですよ。長い時間その方々といいたのですが、プログラムが終わったら大学へ帰ります。しかし、また断然会います。私は、その方々を全然忘れません。私とお母さん新聞にもできました。

最後に、私はみなさんにかんしゃしたいです。私の日本の生活では一番嬉しかった時はこのホームステイの時です。ホームステイの方々とホストファミリーとホストファミリーの親類はとてもやさしかったです。もう一度このプログラムに行きたいです。明日からホストファミリーとホストファミリーの親類がいなくて生活はとてもさびしいです。

ミー(ベトナム)

いなみ町、愛している！

本当に楽しい時間でした。ホストファミリーと一緒に過して、本当に毎日楽しく経っていました。お父さんとお母さんも、ご家族の皆さんも、だれでも本当に本当に親切ですし、そして、いつもやさしくして下さいました。私は自分が皆さんに出逢えて、本当に自分の幸運だと思えます。

これからも、いなみ町で学んだことや教えていただいたことを生かしていきたいと思えます。

またチャンスがあれば、ぜひお父さんとお母さんとご家族のみなさんと会いたいと思えます。ぜひ、ぜひです！

カンタロちゃん、カナちゃん、ユウカちゃん、お兄さん、お姉さん、お父さん、お母さん、また会える日まで！



植田ファミリー

ミーちゃん、ありがとう

今年はベトナムから好奇心旺盛なミーちゃんが我が家に来ました。食事の用意、あとかたづけ、洗たく物干し、ショッピングなどのお手伝いを本当に親切してくれました。

フリータイムは、孫たちとゲーム、花火大会見物、親せきの人たちのパーベキューパーティ、生野銀山見学などをしました。

すべてに感動しているんなシーンをスマホに納めていました。特に驚いたのは、お盆にお坊さんがお参りに来たので、玄関に入られてから外へ出て車で帰られるまでスマホに納めていたことです。その熱心さに感動しました。家族皆が刺激を受け本当に元気ももらいました。

ミーちゃん来てくれてありがとう。夢に向かって頑張つて下さい。応援しています。ぜひまた遊びに来てね。

最後になりましたが、スタッフの皆様方、本当にお世話になりました。

ビプル(ネパール)

ホームステイプログラム

ぼくがこのプログラムで経験したことは全部楽しかったです。稲美町でぼくたちは歓迎会していただきました。稲美町のおもてなしはとてもよかったです。小学生と老人クラブと一緒にした活動はとても楽しかったです。そこで扇子里に絵を描いたり、けん玉とお手玉をしたり、書道をしたり、小学生と老人クラブの人達と話したりしました。高校でお琴をひくことと生け花をすることはとてもおもしろかったです。中学校吹奏楽部の演奏したことを聞いて、心地良かったです。稲美町の花火大会は迫力満点でした。盆踊りとご家族と話すと日本の食事して日本文化と日本語を深く知ることができました。稲美町のご家族のおにいちゃんといもうととゲームをして楽しく過ごしました。稲美町のご家族はぼくの自分の家族よりもやさしかったです。

ホームステイプログラムを選んでいただきまして、ホストファミリーと稲美町の皆様どうもありがとうございました。



竹元ファミリー

ネパールのビプル

今年、我が家に来てくれた留学生はネパールから来たビプルでした。ビプルはとても優しく穏やかな男の子です。4月に日本に来た時は挨拶くらいしか知らなかったとのことですが、8月にはとても上手に日本語を話していました。まだ日本語を勉強中なので、子どもたちが夏休みの宿題の漢字を書いていたら、ビプルも漢字の練習を始めるくらい、とても勉強熱心でした。

ネパールではまだ洗濯機がないお家もあるらしく、ビプルは手洗いで服を洗ったとのこと、他にも家事を手伝うことが多かったそうで、台所で私がご飯を作っていたり、片づけをしていたら、何か手伝うことはないか、聞いてきてくれました。

日数は短かったのですが、一緒に加古大池の花火を見に行ったり、地元の盆踊りで子ども会の輪投げの当番を手伝ってもらい、一緒に盆踊りを踊ったことは良い思い出になりました。

ネパールには海がなく、日本で初めて海を見たことなので、ビーチを歩いて足だけでも海に入る体験してもらおうと思ひ、アジュール舞子に行きました。暑かったのですが、楽しんでもらったので嬉しかったです。

ビプルが夢を叶えて、これから日本の大学で勉強を頑張っていくことを応援していきたいです。

ホストファミリーと留学生の6日間

ミドリ(ブラジル)

忘れられない経験

日本に来たばかりの時、私のルーツを調べることにしました。なぜなら、日系人なのに自分の家族は日本の習慣をしていないし、先祖のことも全然分からないからです。そのため、先祖の故郷へ旅行しました。しかし、稲美町にいる間だけ本物の日本人の生活を経験できたと思います。

稲美町の老人クラブの人、小学生、中学生、高校生を迎えるとき、色々な活動をして、とても勉強になりました。その時、書道や生け花や琴などやって、先祖の文化が理解できるようになりました。また、小学生と中学生と一緒に日本人の遊びをしたり、子供のとき見たアニメ音楽の吹奏クラブの演奏を聞いたりして、子供のときに戻つた感じをしました。

さらに、藤本さんの家族と生活する間に思いがけないことをたくさん学べました。私が稲美町に来る前に藤本さんはブラジルへの日本移住のことを調べました。そのため、私は分からなかったことを教えてもらいました。しかも、神戸にある日伯協会へ行きました。あそこで日本人の視点から日本の移民が見られました。また、藤本さんは写真と本を通して、日本と稲美町の歴史を紹介して、私は先祖が生活した環境を想像できました。

そして、藤本温子さんは私が経験したことがないことをやってみたくて、それをやりました。また、早織ちゃんと千紗都ちゃんと一緒に色々遊んだり、囲碁もやってみました。

さらに、稲美町の花火大会へ行ったり、お盆の活動を体験したりできました。この6日間はとても楽しくて、色々勉強になりました。また、稲美町の人々はみんな優しくなりました。このホームステイは忘れられない経験だったと思います。



藤本ファミリー

ブラジルのみどりちゃん

今回の留学生受け入れは、私達家族にブラジルを知るきっかけを作ってくれた6日間でした。ブラジルはサッカー、サンバ、コーヒー、アマゾン等で知られていますが、それで十分ブラジルを知っているつもりでした。

うちに来てくれたみどりちゃんは日系四世で、ご両親は日本語を話せません。そんな彼女が日本語を学び、曾祖父母の足跡をたどる姿には心を打たれました。ブラジル移民の資料が保管されている「海外移住と文化の交流センター」へ一緒に出かけ、曾祖母の名前が見つかった時は大きな驚きと喜びがありました。これまで「ブラジル移民」という言葉は知っていても深く興味を持つことなく過ぎてきた私達家族にとつて本当に貴重な体験でした。これからもブラジルに関心を持ち続けたいと思います。

みどりちゃんとの出会いを下さった国際交流協会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

柴田ファミリー

南米より

我が家に南米チリ出身のフランさんが来てくれました。陽気で明るい女性です。自己紹介の紙や世界地図を見て、満足してもらえないか不安でしたが、歓迎会で「将来の夢は少年ジャンプで働くことです！」という言葉聞き、息子たちもワンピースなど漫画の共通の話題が出来、一気に打ち解けました。2・3日目の小・中・高・老人会との交流は「楽しかった。」と帰ってきて、夜もよく寝れたようでほっとしました。4日目のフリータイムは、長男の試合で姫路へ行き、初めての剣道と姫路城の見学をしました。一緒に買い物にも行き、娘ができた様で嬉しかったです。

日本語、スペイン語、英語の翻訳が母国の大学では専門のフランさん。1歳の三男の喃語には「通訳がいるね。」とつぶやいていておもしろかったです。チリでは食事はフォーク、Zを発音しないスペイン語、風呂はシャワーのみ、イースター島のモアイ・・・など、いろんな話を聞き、稲美町にいなながらも南米に行った気分になりました。日本の反対側のチリから来たフランさん、遠くからいつでも応援しています。



*やさしく、しょうぎ、おせろ、野球ばん、はなび大会、せんとう中・・・、フランさんといっしょに遊ぶ時間がすごく楽しかったです。こんな楽しい日ははじめてでした。また会いたいです。(次男)

フラン(チリ)

「いなみ野の里」

ホームステイは人生ではじめてで、正直にいうと、最初はとても緊張でした。しかし、思っていた以上に楽しかったです。小中高の学生と老人の方々と一緒に交流ができたことによって、日本の文化を様々な場面や視点から経験し、知ることができました。そのことが他の留学生の国々や自分の国について改めて考え、前に気づけなかったのを見えるようになりました。

このホームステイで過した時間や経験したことは私の宝物の一つになりました。その中で、柴田家の皆様、心から感謝しています。久しぶりに起きたら一人ではなく、「おはよう」と言ってくれる人がおり、にぎやかに食事をして、一緒に遊ぶことや様々な話をするなどとは人生で一番大切な思い出の一つになることを確信しています。短い間でしたが、このような面白く、楽しい上、あたたかいご家族と一緒に過ごせることは大変うれしいです。幸せそのものです。ありがとうございました。

そして、最後に、このホームステイのスタッフの皆様やいなみ野の里の方々にもありがとうございました。

イーティン(台湾)

「いなみ野の里」最高！

今度の体験は本当によかったと思います。いろいろな日本の伝統文化や日本の食文化などはさらに深く理解してきました。

最も楽しかったのは日本の家族と一緒に遊んだり牧場で小動物と遊んだりすることです。お母さんは本当にあかるいタイプです。料理の腕も良いです。お父さんはかっこよくてやさしいです。自家製の家具が綺麗です！悠聖、謙心、陽慧がほんまに可愛いです！見ると、気持ちがよくなります。お父さんとお母さんの実家に行きました。お墓参りも行きました。非常に特別な経験です。日本に住む時間ももうすぐ一年ですが、こんなに日本家庭との生活することは初めてです。近くて面白かったです。

本当にありがとうございます！いなみ野の里！最高！中川家族最高！また一緒に遊びたいなあ！



中川ファミリー

一台湾からのお姉ちゃん

我が家に台湾のイーティンが来てくれました。子ども達にも優しく沢山遊んでくれて、来た時からフレンドリーでした。加古大池花火大会へ行つた時も帰り歩いたのですが、子どもを抱っこしてくれたり、手を繋いで歩いてくれました。

フリータイムにヨーデルの森へ行ってきました。動物を触ったり、鮎つかみをしたり、BBQをしたり、一緒に楽しみました。

台湾の家庭では外食が主だったり、女の人が髪を洗ってもらう専門店があつたりします。臭豆腐という臭い豆腐も普通に皆んな食べていて、イーティンも美味しいと言ってました。でも日本の納豆は食べられないようです。かき氷や小籠包など美味しい食べ物も教えてもらいました。

お盆だったので墓参りやお坊さんのお経を聞いたりもする機会もありました。日本の生活を体験してもらえたかなと思います。台湾へはイーティンが来る前に行つたばかりでしたが、また行きたくなりました。イーティンと過ごした日々は賑やかでいい思い出になりました。

前田ファミリー

楽しい日々はあっという間に

この度初めて留学生を受け入れる事になり、食事や洗濯、家での過ごし方等不安なことがたくさんありましたが、本人に訊いてみると、言葉も堪能ではっきり自分の思いを伝えてくれたので気持ちがわかりやすかったです。

歓迎会の後、お互いに緊張気味に家に到着。その後、共通の話題、日本のマンガの話で盛り上がり緊張がすーっと解けました。

一緒に料理を作ったり、おしゃべりして浴衣を着て花火大会に出かけたり、ボーリングをしたことがないというので皆でボーリングにも行きました。彼女は日本語を勉強中、特に関西弁を中心に勉強しているの、「それ、違うやん」「ほんまに大丈夫？」など、とても流暢に話をしていました。

初めはお客という気持ちで接していましたが、すぐに家族の一員という思いが強くなって、子供が一人増えたような気持ちになりました。

最終日に留学生の一人が熱く語っていましたが、本当に日程が短かったです。ホストファミリーは家族にとってとても貴重ないい経験になりました。ありがとうございました。



ファイファイ(中国)

初めての近さ

ホームステイの期間中、様々な「初めて」を体験しました。初めて小学生のゲームをし、初めて中学生の演奏を聞き、初めて高校生の部活を見て、初めて日本のお年寄りや話し、一つ一つ大切な思い出として心の中に残ります。

最も、私は一番いい家族と出会いました。元気でいつも優しいお母さん、活発なお父さん、照れている弟と妹たち、温かいおばあちゃんとおじいさん。初めてこんな距離で実際に誰かの生活に入り込んで、皆様にとってはごく普通の日常かもしれませんが、私にとっては毎日が新鮮でミラクルがいっぱい溢れている日々でした。こんなに優しい家族も存在するのだからって深く感じました。

もちろん、ちょっと残念なこともあります。弟や妹たちともっともっと親しくなりたいかったが、いつも自分がこんなにいっぱい喋っちゃって嫌われてるかもしれないかかってる口に出さなかったこともありました。

本当に本当にこんな短い時間でいろいろ体験させてくれてありがとうございました。

最後に可愛い茶々丸、白、ココアにも感謝申し上げます！ペットの中でも一番可愛い猫ちゃんワンちゃんです！

また日本に来る時会いましょう。皆様、また。

ダニエル(ナイジェリア)

稲美町、私の2番家

このプログラムのために来ることは、私が日本に来てから、私がしたの中で一番いいことです。このプログラムに来る前に私は希望も期待もしていなかった。しかし、私は稲美町の民のやさしさに驚いた。世界中でお祖母ちゃんが一番いい方です。今このプログラムのお祖母ちゃんは日本で私のお祖母ちゃんになりました。

このプログラムの間、お祖母ちゃんは私に日本語を教えてくださいました。日本文化と料理の作り方をくれました。

たくさん日本語練習をしました。このプログラムに来た私はうれしかった。全部行事はすばらしかったですよ！今、稲美町は私の家です。みんなはほんせつでした。

このプログラムが一番おもしろかったです。



福田ファミリー

我が家に吹き込んだ爽やかな風

8月9日、アフリカのナイジェリアからダニエル君が我が家に来てくれました。彼はとても親切で、謙虚な若者でした。朝食を準備している時、ピアノの音が聞こえてきました。ふと見ると彼がとても上手にピアノを弾いていました。聞くと4、5歳から14歳まで習っていたそうです。帰るまでに、もう少し聞きたいと思いました。ナイジェリアの教育は厳しく、遅刻をしたり、宿題を忘れたり、成績が下がったりすると、棒で手や背中やお尻を叩かれるそうです。日本では考えられないことですが…。小さい頃はお父さんが隣に座り、お父さんに勉強を見てもらったと言っていました。両親共にお忙しく、食事はお母さんが朝早く起きて作られていたそうで、大きくなってからはお姉さんたちと分担していたそうです。ダニエル君が来て、我が家の朝食はいつも和食でした。孫たちとは違い、出したものは何でも美味しく食べてくれるので、わたしも作り甲斐がありました。娘家族と一緒に書写山、姫路城に行った時は大道芸人の猿回しを興味深く見ていました。

日本の料理を作ったことがないというので、一緒に【お好み焼き】、【焼きそば】、【ハンバーグ】を作りました。包丁の使い方も上手く玉葱のみじん切りは手の上で器用にしていたのには、びっくりしました。

あっという間の6日間でしたが、初めはぎこちなかった孫の慶もだんだん慣れ、遊んでもらって楽しかったようです。ナイジェリアは60%が若者、これからどんどん発達していく国と日本に戸惑いながらも、教育の大切さを感じた日々でした。

ダニエル君、我が家に爽やかな風を運んでくれて、ありがとう。また、いつか帰って来ててください。

色々お世話いただいた関係者の皆さま、この素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。

本岡ファミリー

ポーランドのパベウ君を迎えて

ふれあい交流「いなみ野の里」のホストファミリーに初めて参加しました。私がこの事業に協力しようと思ったきっかけは、今年から私がマレーシアで柔道の指導を始め、現地で道場オーナー宅にホームステイさせて頂いた経験からでした。家族の了解もないまま私の独断でスタートし、パベウ君とのマッチングの連絡がきたのも私がマレーシアに出発する前日でした。帰国して、説明会には国際交流協会から来た書類を見た家内が参加してくれていたのには、驚きと感謝がいっぱいでした。また、日程がお盆休みと重なり、私の仕事としては折り合いをつけやすかったのですが、精一杯のおもてなしをしてあげようと思っていた家族にとっては大変忙しいことになったようでした。

パベウ君は遠慮深く、なんでも「大丈夫です」の返事が返ってくるような日本人的な気遣いのできる学生であったことも逆にこちらが気を使ってしまふほどでした。彼は和服や和菓子に興味があるということから、花火大会には私と浴衣で行きました。午前中の交流会で出会った中学生から手を振られたりしてちょっと照れていましたが着物がとても似合っていました。2日間のフリー交流では、姫路城や明石海峡大橋などの兵庫県を代表する建築物の見学や家族・親戚と一緒に和菓子作り体験をしました。パベウ君のおかげで私たちがさえあまり体験できない日本文化にいろいろ触れることができて大変有意義でした。

「普通なら出会う事のない人と話し、知らなかった国の事を知る」このきっかけを作ってくれた稲美町国際交流協会の活動に感謝し、これからも末永く続いていくことを願います。



パベウ(ポーランド)

「いなみ野の里」プログラム

今週のホームステイプログラムで、一週間にわたって様々な日本文化体験を経験することができた。稲美町の小・中・高生と時間を過ごし、日本人にとって外国人はどのような人であるか知った。そして、生徒達との交流して、自分の国の文化も伝えることができた。

まず、金曜日の小学生と老人クラブとの交流会では、親切で温かい歓迎を受け、用意してくれた遊びに参加したおかげで「ここに来てよかった」と思った。高校生と一緒に書道、茶道、琴体験を初めてやってみたことにも、日本文化をもっと深く理解できた。また、吹奏楽部の演奏を聴くと、あの生徒の努力と音楽への情熱も見られた。

とはいえ、最も多いことを見てくれた方々は私のホストファミリーである。暑さにも関わらずたくさん場所へ連れてくれたり、いつもとてもおいしい料理を食べさせてくれたりすること、日本文化、礼儀、歴史などを教えてくれること、とても感謝しています。

ここから先のことや、日本人の家のなかからしか見られない物を見て、こういう大事な経験を積むことができた。本当にありがとうございました。

クイズに挑戦

①香港 紅茶と一緒に食べる物はなに？

わーどクイズ⑩

- 1. にわとりの足
- 2. ぶたの足
- 3. 犬の足

答えは最終ページ左下にあります。

ホストファミリーと留学生の6日間

チータ(インドネシア)

新しい家

最初は、どのような家族が受け入れてくれるかは不安でたまらなかつたが、今は「この家族の一部になれて良かったな」と思っています。

ほぼ一年間日本に居るのに、このような体験は一度もなかったため、日本人はいったいどのような生活をしているのかはわからなかつたです。ドラマでしか見たことがなかつた。しかし、このプログラムののおかげで、日本人の家族との生活を体験することができました(短いけど)。

日本人の家族の一部として生活して、日本の小・中・高生や老人会の方々といろんなことをやってきました。私にとってこれは、生きてきた中で非常に貴重な体験です。さらに、交流だけでなく、地元の人しか知らない場所やグルメも楽しめることができました。

新しい知識や日本語の単語も覚えました。

このプログラムのおかげで、私には新しい家族、新しい友達、新しい帰る場所ができました。このプログラムに参加して良かったです(短かったけど)。

楽しい時間、ありがとうございました。また来ま〜♡



大向ファミリー

「また1人、家族が増えました！」

3年ぶりのホストファミリーでした。新鮮な気持ちで、留学生との交流を楽しむことができました。

我が家に来たのは、インドネシアはバリ島出身のチータ(本当の名前は難しすぎて、覚えられません)という女の子です。チータは、目のクリクリとしたスレンダー美女です。

インドネシアは1万を超える大小の島々からなる国で、その島ごとに異なった民族、言語、生活習慣や風習があるそうです。バリ島と言えば、世界有数のリゾート地というイメージしかありませんでしたが、チータといろいろ話をしていくにつれて、私達とは全く違う日々の生活に興味を深まるばかりでした。

フリータイムの日は、地域のお盆祭を覗いたり、渦潮を見に淡路島へ行ったりしました。幸いにも大潮のシーズンで、たくさんの渦潮を見ることができ、チータは熱心に動画に収めていました。海の色ではバリ島に敵いませんが、渦潮はバリ島では見ることができないので、めずらしかったようです。

うだるように暑かった今夏でしたが、ホストファミリーをしていると、留学生との交流に夢中になって、暑さも吹っ飛びます！ぜひ来年、皆さんも参加してみてください！！

大西ファミリー

ホストファミリー初体験！

気がつけば、あっという間の6日間でした。以前からホストファミリーに興味があったものの、なかなか挑戦出来ずにいましたが、今年は思い切って申し込みました。ホストファミリーになることが決定した7月から、留学生が家に来るまでの1ヶ月間はドキドキ、そしてソワソワ。思い切って申し込んでしまったけど大丈夫かと不安な気持ちも正直ありました。そして緊張の初日。私たちの家に来たのはルーマニアの女の子、クリスティアーナです。事前に聞いていた情報では、あまり日本語が得意ではないとのこと、心配もしていました。実際に会って話してみると日本語のうまさびっくり！日本に来てまだ4ヶ月とは思えないほどでした。また、漢字も得意でたくさんの漢字を覚えており、驚きの連続でした。

クリスティアーナが来てからの数日はルーマニアのことについて教えてもらいました。ルーマニアという国名は聞いたことがありましたが、どんな国かは全く知らなかつたのでいろいろ教えてもらうことができて良かったです。ルーマニアでは野菜やフルーツの栽培が盛んで、日本よりもはるかに安く売っているとのこと…。羨ましくなりました。

時間はどんどん過ぎていき、最終日前日のフリータイムにはクリスティアーナが行きたいと言っていた明石海峡大橋とうずしおを見に行きました。普段はあまり感情を出さないクリスティアーナがとても嬉しそうにしていたのが印象的で、私たちも久しぶりに見に行つたということもあり、非常に楽しい1日を過ごすことができました。

この6日間は本当にいろいろな経験をすることができた楽しい時間となりました。またクリスティアーナと会えるのを楽しみにしたいと思います。

クリスティアーナ(ルーマニア)

夏休みの初旬

このホームステイ事業のおかげで、日本語の練習を良くしました。それと、関西弁を良く聞きました。かつめしめ美味しかったです。

みなさん、本当にありがとうございました！



アシュラフ(モロッコ)

ホームステイプログラム

この6日間は面白くて楽しかったです、そしてまたとてもためになりました。私は日本人の毎日の生活又、日本家庭での家族のふれあいについて学びました。又日本家屋の構造や内部についても学びました。最初の2日は小学校、中学校と高等学校を訪問しました。通常の日本の学校がどんなであるか見るのは楽しかったし、日本の学生と会ったりふれあつたことは楽しかったです。私たちは高校生とおしゃべりしたりカードゲームをしました。茶道や生け花を教えてくださいました。小学生といくらかゲームをしました。小学生といくらか子供時代を思い出しました。中学校では吹奏楽の演奏を楽しみました。その音楽は素晴らしいです。特に1曲好きな音楽がありました。

家庭でお手伝いをしたり、日本の墓地を訪ね、亡くなった人たちに敬意を表するなどたくさんのお話を聞きました。お盆には家族の集まりにも参加しました。

私はモロッコのタジン鍋をみんなに料理してあげ楽しかったです。皆と話したり笑ったりして温かい雰囲気でした。(原文は英語)



坂井ファミリー

アフリカのモロッコから、アシュラフ君が我が家へ

8月9日、我が家にモロッコからの留学生、19歳のアシュラフ君がやってきました。心配していたのは、ベッドに寝られるかということ。長男が独立し、空いた部屋を使ってもう事にしましたが、問題のベッドは長さ2m。メールで身長を問い合わせると185cmとの返事が。歓迎パーティーで初めて顔を合わせると、やっぱりかなりの長身で、家に着くなり、まずベッドに横になってもらいました。本当にギリギリですが、本人は「大丈夫、大丈夫！」と言いました。入口のドアや鴨居にも頭をぶつけないよう注意を促し、同居生活がスタートしました。

彼は、アラビア語・フランス語・英語が堪能で、4月から学び始めた日本語もかなりのレベル。長い間英語を学んだのにしゃべれないうちの者全員が感心すると、これはモロッコでは当たり前のことと平然と話してくれました。

遠慮がちだったアシュラフ君もだんだんと打ち解け、食事をしながらたくさんのお話をするようになってくると、それぞれの国や文化の違いもいろいろとわかり、私達も楽しくなってきました。ある時、彼がモロッコの家族(たぶん弟)と話す大きな声が聞こえてきました。早口で、とても楽しそうです。やっぱり母国語で家族と話すということは、それだけで心弾むことなんだと感じました。

ちょうどお盆だったので、一緒にお墓参りをしたりお坊さんの読経を聞いたり、稲美町の花火大会にも見物に出かけました。帰省してきた甥一家も含め総勢11人で、アシュラフ君持参のタジン鍋とスパイスで調理したタジン料理もご馳走になり、地域の盆踊りにゆかたを着て参加し、ふだんの我が家にはない賑やかな、そして活動的な6日間を過ごしました。

それはしても5年間、遠く離れた(飛行時間17時間)この日本で学びたいという彼の強い気持ちに触れ、心から応援したくなりました。折にふれ、これからは我が家を訪ねてくれたら嬉しいなと思っています。